

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-289840

(P2008-289840A)

(43) 公開日 平成20年12月4日(2008.12.4)

(51) Int.Cl.  
D06F 83/00 (2006.01)F1  
D06F 83/00テーマコード(参考)  
4L029

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2007-166948 (P2007-166948)  
(22) 出願日 平成19年5月28日(2007.5.28)(71) 出願人 507155834  
田中 俊英  
大阪府豊中市南桜塚1丁目2番1-306号  
(72) 発明者 田中 俊英  
大阪府豊中市南桜塚1丁目2番1-306号  
Fターム(参考) 4L029 NB03

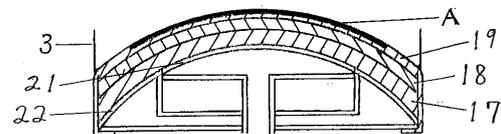
(54) 【発明の名称】 仕上げ機用アイロン台のパッドカバー

(57) 【要約】

【課題】 衣服のセット作業が簡単容易で、同時にプレスと引き伸し作用ができる機能を有するアイロン台鏡のパッドカバーを設けることで、初心者でもシワ・縮み・型崩れの無い良好な仕上げができると共に、生産性を高め、運転経費の節減を計ることにある。

【解決手段】 アイロン台鏡21・22の表面に柔軟性を有し、含水性の少ない弾性部材17を重ね、柔軟性を有し、含水性の少ない起毛した編織布等の部材18を重ね、その上面に耐吸湿性を有し、柔軟な編織布等を縫製したカバー19を被覆し固定する。アイロン台の上にワイシャツAをセットしプレスすると、シワ縮みの無い良好な仕上がりになる。

【選択図】 図4



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

プレス・引き伸し機能を有するアイロン台の表面に伸縮性を有するパッド・カバーの部材等を順次重ね被覆し、又は前記パッド・カバーの部材等を一体的に縫製したものを被覆し、固定された事を特徴とする仕上機用アイロン台のパッドカバー。

## 【請求項 2】

前記パッドカバー部材等の一部又は全部を含水性の少ない柔軟な部材で構成し、または防水、撥水等の加工処理を行った部材で構成されたことを特徴とする請求項 1 記載のアイロン台のパッドカバー。

## 【請求項 3】

前記パッドカバー部材等の一部又は全部を通気性を有する弾性部材で構成し、または引張り強度が良好な部材で構成されたことを特徴とする請求項 1 記載のアイロン台のパッドカバー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、衣服プレス・引き伸ばし仕上げ機用アイロン台のパッドカバーに関する。

## 【技術背景】

## 【0002】

従来、洗濯により縮んだカラーやカフスを伸張し復元させるため、生地を両端を挟み引張るクリップのような部材を下鐙の両端に設けたものがあつた、これらは伸張した後、その次の行程で上・下鐙を圧迫しプレス仕上げしていた。それらはプレス・引き伸ばし仕上げが同時に一工程で行うものではなく生産性の向上は難しい。

## 【0003】

上鐙でプレスしたまま下鐙が 2 分割して開くようにしたものがあつたが、伸び・プレス仕上げ不良で伸張機能を有する訳ではない。

## 【0004】

なお、本願発明に関連する公知技術として次の特許文献 1 を挙げる事ができる。

## 【0005】

【特許文献 1】 特開 2001-190900 号公報

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0006】

上述の如く、従来技術に係る挟みクリップのような伸張装置にカラー生地を両端をセットする作業が練習、経験を必要とし初心者では難しく、セットが適正に行われていないと形崩れを起す恐れがある。それらの引き伸し作業工程を行った後に上鐙をアイロン台に圧迫してプレス仕上げが同時に一工程で簡単に行なえる訳ではないので、運転経費の節減が計れない。

## 【0007】

上鐙でプレスしたまま下鐙が 2 分割して開くものは、開口部のみが引張られてカラー生地の変形、破損の恐れがあると共にシワ・縮みの無い良好な仕上げが行われていないのが現状である。

## 【0008】

本発明は、このような点に鑑みて成されたものであり、その目的は、衣服のセット作業が簡単容易で、かつプレスと同時に引き伸し作用ができる機能を有する鐙及びアイロン台のパッドカバーを設けることで、初心者でもシワ・縮み・形崩れの無い良好な仕上げができると共に生産性の向上が計れ、大巾なコストダウンを可能にすることにある。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0009】

上述の目的を達成する本発明の仕上機用アイロン台のパッドカバーは、プレス・引き伸

10

20

30

40

50

し機能を有するアイロン台の表面に伸縮性を有するパッド・カバーの部材等を順次重ね被覆し、又は、前記パッド・カバーの部材等を一体的に縫製したものを被覆し、固定されたことを特徴とする仕上機用アイロン台のパッドカバー。

【0010】

一例として、前記パッド・カバー部材等の一部又は全部を含水性の少ない柔軟な部材で構成し、又は、防水・撥水等の加工処理を行った部材で構成されたことを特徴とする請求項1記載のアイロン台のパッドカバー。

【0011】

一例として、前記パッド・カバー部材等の一部又は全部を通気性を有する弾性部材で構成し、又は引張り強度が良好な部材で構成されたことを特徴とする請求項1記載のアイロン台のパッドカバー。

【発明の効果】

【0012】

以上説明したように本発明によれば、プレスと引き伸し作用が同時に行える機能を有する鍔及びアイロン台のパッドカバーを設けることで、衣服のセット作業が初心者でも簡単容易で、かつシワ・形崩れが無く、縮みを引き伸し、復元された良好な仕上げが可能となる。またプレス、引き伸し作用が一工程で行えるため仕上げ品質の安定した商品・サービスが提供できるため、消費者から高い評価と信頼を得ることができ、生産性の向上、省エネルギー化、大巾なコストダウン等に極めて有効である。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、本発明を実施の形態を図面に基づき詳細に説明する。

【0014】

図1～図3は本発明の実施の形態に係り、図1は外観要部正面図、図2・図3はプレス前のアイロン台の横断面図、図4はプレス時のアイロン台の横断面図及び説明図である。

【0015】

図1～図4に示すように、本アイロン台1の鍔はプレス前には平面的でプレス時にはアー形状になる中央部鍔21とアー形状の端部鍔22からなり、その表面に伸縮するゴム板に通気孔を多数あけたもの等の通気性を有する弾性部材10を重ね、その上面に伸縮性を要するポリアミドネット等の部材11を重ね、その上面に伸縮性を有する連続発泡スポンジ体12を重ね、その上面に起毛布、フェルト等の含水性の少ない柔軟な部材13を重ね、その上面に伸縮性を有する編織布と防水加工の編織布を縫製したカバー14を重ね被覆され、本アイロン台1が構成されている。アイロン台は給排気、蒸気加熱・吹出し等を自在に機能するよう配管されている。図2・図3のように、プレス前のアイロン台の上にワイシャツAをセットしプレスすると、平面的なアイロン台パッドカバーの中央部が押し上げられて、上ゴテ3のアー形状にワイシャツAが引き伸されると同時にプレス仕上げされる。以上のような構造のものはカラー・カフス、両衿等2次元アーのアイロン台に好適であり、又立体的仕立の腰等3次元アーのアイロン台にも最適であると共に衣服のセット作業が初心者でも簡単容易で、縮みを引き伸し復元させ、良好なプレス仕上げである。

【0016】

アイロン台の鍔21・22の表面に多数の通気孔のあるスポンジ等の弾性部材10を重ね、その上に引張り強度が良好なフェルト、不織布等の部材15と含水性の少ない伸縮する編織布16を一体的に縫製したものを被覆し、その両端をゴム紐等で引張り固定する。アイロン台の中央部鍔21にバネ鋼板が取付けられ平面的になっており、端部鍔22は巻きバネを介してアイロン台枠23に支持固定している。アイロン台の上にワイシャツAをセットし、エアシリンダ(図示せず)を駆動してアイロン台枠23を押し上げて上ゴテ3に圧接しプレスすると、ワイシャツAが引き伸されると同時にシワのないプレス仕上げがなされる。以上のように構成されたものは、カラー・カフス、両衿、前立等2次元アーのアイロン台パッドカバーに好適であり、衣服のセット作業が簡単で、仕上がり品質は

10

20

30

40

50

良好であり、かつ生産性が向上する。

【0017】

アイロン台の鏝21・22の表面に柔軟性を有し含水性の少ない弾性部材を1枚以上重ねたものを柔軟性を有する編織布、ネット等で包んで一体的に縫製されたもの17を重ね、その上面に柔軟性を有し含水性の少ない起毛した編織布を1枚以上重ねたもの18を重ね、その上面に耐吸湿性を有する柔軟な編織布等と難通気又は不通気性を有する編織布を縫製したカバー19を重ね被覆し固定される。アイロン台の上にワイシャツAをセットし、プレスするとワイシャツAが引き伸されると同時にシワのないプレス仕上げがなされた。以上のように構成されたものは、カラー・カフス、両衿、片衿、両脇等の仕上機のアイロン台パッドカバーに好適であり、衣服のセット作業が簡単容易で、仕上げ品質も良好であり、高い生産性もあり、大巾なコストダウンが計れる。

10

【0018】

以上、本発明の実施の形態及び実施例を説明したが、本発明の範囲はこれに限定されるものではない。例えば、プレス仕上げの用途もワイシャツ用、作業衣、白衣、看護衣、綿ズボン、背広、コート、ウールズボン用等に限定されるものではなく、また、衣服の仕上げ目的、品質、加工及び仕上げ部分の衿、カフス、腰、前立、袖等に限定されず、仕上機のアイロン台の形状、寸法、大きさ、2次元アール、3次元アール、機能、効果、構成等も任意に選定することができる。また、パッド・カバーを構成する材質、加工、組合せ、構造、積層、被覆、固定、縫製、方法等は状況に応じて適宜選択されるものである。

20

【産業上の利用可能性】

【0019】

本発明は衣服の仕上げとして有用な上下加圧のプレス仕上機を製造、販売、使用する産業分野で利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】 本発明の実施の形態に係る仕上機の外觀要部正面図である。

【図2】 図1のアイロン台のプレス前の横断面図である。

【図3】 プレス前のアイロン台の横断面図である。

【図4】 プレス時のアイロン台の横断面図及び説明図である。

【符号の説明】

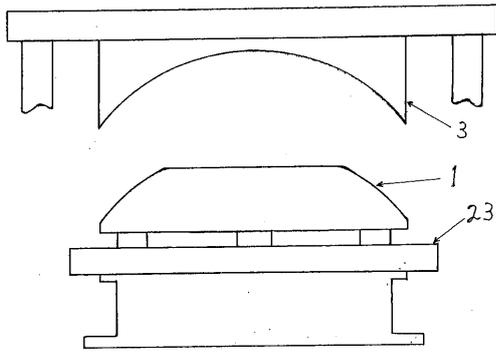
30

【0021】

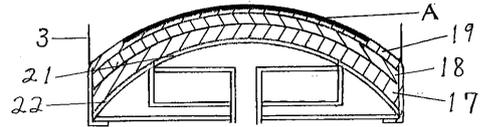
- 1 アイロン台
- 3 上ゴテ
- 10 通気性を有する弾性部材
- 11 伸縮性を要するネット等の部材
- 12 伸縮性を有する連続発泡スポンジ体
- 13 含水性の少ない柔軟な部材
- 14 カバー
- 15 引張り強度が良好なフェルト等の部材
- 16 含水性の少ない伸縮する編織布
- 17 弾性部材を編織布等で包んだもの
- 18 含水性の少ない起毛した編織布
- 21 アイロン台の中央部鏝
- 22 アイロン台の端部鏝
- 23 アイロン台枠
- A ワイシャツ

40

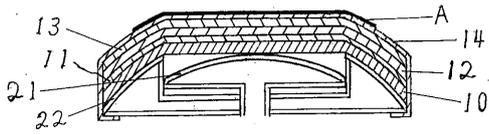
【図1】



【図4】



【図2】



【図3】

